



*創立50周年記念ロゴマーク

東明

□令和5年2月1日発行
□男鹿市立男鹿東中学校
男鹿市船越字根木169番地

縦割り班活動で心を紡ぐ東中生

社会性の基礎を育む異年齢交流活動に取り組んでいます。

近年では、少子高齢化や人口減少などにより地域の人間関係は希薄化するとともに、兄弟の数や地域の子どもの数が減っていく中で、子どもたちが人と関わることに自然に慣れ、人と関わりたいという思いを自然に感じ取っていくような場や機会が失われてきました。社会性の基礎となるものを自然に身に付けることは困難になり、人と関わることのよさ、ありがたさ、温かさなどを十分に感じ取ることができにくい状況にあります。昨今のコロナ禍はそのような状況に拍車を掛けてしまっているのではないのでしょうか。本校の生徒の実態を見ても、人と関わることを苦手とする生徒が増えてきたように思います。

人は人と関わらずに生きていくことはできません。人と関わり合いながら、たくましく生きていく力を育むためには、まずは、社会性の基本である「人と関わりたい」という思いを育むことが必要です。

昔は、近所の子ども同士で遊んだり喧嘩をしたり、子どもの世界にも社会がありました。町内の子どもは家族も含めて知っていて、年長者は小さい子をいたわり守る（責任感や自己有用感が醸成される）。小さい子は年長の子に感謝し、憧れる（将来なりたい自分の姿をみつめる）。そのような関わりの中で、「人と関わりたい」という思いはゆっくりと育まれてきました。そのような思いは、自ら体験することによってのみ獲得されていきます。

本校では、前述のような時代背景と生徒の実態を踏まえ、目指す生徒像の一つに「結:仲間や地域と絆を結ぶ生徒」を掲げ、具現するための施策の一つとして「縦割り班活動の充実」に取り組んできました。今年度の活動を総括します。

◆5/9(月)～花壇作業 *****

縦割り班で学年ごとに役割分担をし、花を育てました。水やりや草取りなどの日々の世話で、色鮮やかな花を咲かせることができました。



◆5/28(金)運動会 *****

学年ごとに学級対抗で開催する学校が多い運動会ですが、本校では縦割り班を基に組を構成しています。伝統の応援合戦では、3年生が一生懸命リードし、1、2年生がそれに応えることで、迫力ある応援を繰り広げました。50周年を飾るにふさわしい運動会になりました。



◆6/13(月)学習の悩み相談 *****

「前期中間テストに向けて、お互いの学習方法から学ぼう」というテーマで話し合いました。初めてのテストに緊張していた1年生も、気持ちが少し楽になったようです。



◆11/29(火)縦割り清掃活動 *****

11月から毎月最終水曜日には縦割り班で清掃を行います。年が明けてからは2年生が班長を務め、1年生をリードしています。卒業式後は毎日行う予定です。

◆1/17(火)～冬の雪かき・挨拶運動 *****

3年生は引退し1、2年生が朝の活動を行っています。積雪のある日は雪かき、ない日は挨拶運動です。寒い朝でも気合い十分です。



◆1/23(月)新年の抱負を語る会 *****

漢字一文字に託した新年の目標を紹介し合い、その後3年生から2年生へ、2年生から1年生へ、進級するに当たって取り組んでおくことよいことをアドバイスしました。



<様々な縦割り班活動後の生徒の感想から>

- ・3年生の皆さんは1、2年生を最後までリードしてくれました。私も来年は今の3年生のように頑張りたい。
- ・先輩方がたくさん応援してくださったのでやる気も出たし最後まで頑張ろうと思うこともできました。
- ・とても不安だったけれど2、3年生が盛り上げてくれたので本気でやりることができました。ありがとうございました。
- ・3年生のすごさ、頼もしさが分かった。自分も来年はみんなを引っ張っていきけるようになりたい。
- ・来年は3年生を支えられるような2年生になりたい。
- ・仲間との絆が更に深まった。頼りない団長についてきてくれたメンバーには感謝しかない。勝つことよりも大切なことを発見することができた。ついてきてくれてありがとう。
- ・3年生という立場だったので、後輩をなんとかかまもていこうと頑張った。1、2年生も協力してくれたので、やり遂げることができた。絆で俺らは結ばれる!!

(文責: 森 山)